



新九郎通信

発行 小田原市栄町 2-13-3 (株) 伊勢治書店 3F ギャラリー新九郎 木下泰徳
 メール配信サービスご希望の方は右記アドレスへお申込みを e-mail:kinoshita@iseji.net

酒匂川は毎朝散歩の人で賑わっています。丹沢の山々には雪が消え、青い空に白い富士がよく目立ちます。日当たりのいい冬木立に、仲よく日向ぼっこしている雀の群れ。何とも愛らしい朝の光景です。松の間の早咲きの桜の若木には、もうたくさんの蕾が膨らみはじめ、春はもうそこです。曾我の梅、根府川のおかめ桜、松田山が河津桜で桃色に染まるのも間近になりました。

2月は、早春を思わせる若い作家たちの展覧会です。ギャラリーで一足早い春をお楽しみください。



新九郎 2月の展覧会のご案内

近隣・友の会会員の展覧会情報

	会期 展覧会名	見どころ
	1/28 (水) ~ 2/8 (日) 2/3 (火) 休館 高木彩展 GLEAM	綿布にアクリル絵具で、花を描いています。琳派風の素敵なお絵です。
	2/11 (水) ~ 2/16 (月) 第16回怪作展	小田原高校OB. OGによる作品展 個性的な作家が揃います。 裏面に作家紹介掲載
	2/20 (金) 新九郎デッサン会	どなたでもお気軽にどうぞ！ 18:15-20:45 会費 1500円 コスチューム、固定ポーズ
	2/11 (水) ~ 2/16 (月) 新九郎デッサン会展	新九郎デッサン会の会員作品展。 テーマは自由ですが、主に 人物画。出品者 11人参加

会期・展覧会名	会場
1/27 (火) ~ 2/8 (日) 月曜休館 北村善子展	すどう美術館 0465-36-0740
2/17 (火) ~ 3/1 (日) 月曜休館 すどう美術館セレクション展	すどう美術館 0465-36-0740
2/18 (水) ~ 2/22 (日) ぐるうぶ碧・ちゃりてい展	飛鳥画廊 問 0465-36-1000 豊島
2/25 (水) ~ 3/1 (日) 西相展受賞者作品・市民写生会 合同美術展	小田原市民会館展示室
2/25 (水) ~ 3/2 (月) 二人展 広川英夫(絵画) × 明美(刺繍)	内野邸穀蔵 小田原市板橋 602
2/8 (日) ~ 2/14 (土) 水休館 2015 南美新春展	女性センター 大雄山駅前ヴェルミ

東海道五十三次 18 藤川宿 (脇本陣跡)

5年をかけ、足で歩いたスケッチ紀行 松野光純



藤川宿は、東海道以前の鎌倉街道時代からあった古い宿場。藤川宿といえば「むらさき麦」。芭蕉の句にも「ここも三河むらさき麦のかきつばた」とある。現在、宿の西の出入り口周辺にある畑で

「むらさき麦」が栽培されている。

藤川宿脇本陣跡は、大西喜太夫橋屋の跡で、門は当時のもの。明治以後は藤川村役場として使われ、昭和30年岡崎市に合併後は、岡崎市藤川連絡所、公民館として使われていた。平成2年には藤川宿資料館が完成している。ここ藤川は、旧東海道と吉良道の分岐点があり、この分岐点辺りから名鉄の線路を挟んで約400mの間にクロマツの松並木が続く。

愚うことなど 横井山 泰



昨年末に作った積木パズルが思わぬ人気である。サイズや観せ方の工夫で発展していきそうな予感がする。今年は5月と11月に個展があるので、5月の新九郎は発展したパズルをメインにした展覧会にしたら面白いかしら？などと構想を膨らませている。元々のパズルのサイズは4×4cmのキューブが4×4個で16個。96面で組み合わせができる。これらのサイズを大きくしたり、単独で壁掛けにしたりの工夫が必要になる。巨大なキューブの6面に絵が描かれている情景が浮かんだ。ひとりの力では作れないかな？どうやって鑑賞するのか？いやいや、ぱっとイメージが浮かぶという事は実現可能ということだろう！ワクワクする計画に頑張るのである。11月には80号を横に6枚連ねた作品をメインにするつもりである。さて、こういう構想を練っていると友人の絵描きが「年間2000号を目安に制作している。」と言っていたのを思い出した。点数でなく面積で換算するところが面白くて印象的だった。今年制作する「作品」の面積はどれくらいになるのだろうか？今年は着いたり離れたりする作品が多くなるだろう。



第16回怪作展

神奈川県立小田原高校の職員(元職員)と卒業生のグループ展です。毎年さまざまなジャンルの作品が出品されます。もともとは、小田原高校の職員三人でグループ展「怪画展」を開催したのがきっかけで、翌年(1998年)、卒業生も参加して「八幡山のアトリエ展」を開催。さらにその翌年(1999年)からは「怪作展」という名称になりました。



石田葵
野菜の妖精の四コマ漫画を描いています。キャベツの妖精、きやべおが主人公。シュールでちょっとブラックユーモアな世界をご堪能ください。書き下ろし新作あります!



入月みな
今回初めて参加させていただきます。水のある風景、緑のある風景、光と影を感じる風景が好きです。(写真は構想段階のものです。)



大淵貴志
デジタルもフィルムも、それぞれの楽しみ方があります。それよりも、その瞬間を見つけに行くのが最近は大変です。ヤギのオブジェ、販売予定です。



神谷綾乃
抽象具象問わず表現したいものを表現したいままに描いています。何をどう描いていても見つめる姿勢は同じであるように向き合いたいです。



倉橋涼太
今回初めて参加させていただきます。昨年から生活環境が変わり、迷い続ける毎日。そんな気持ちも大切にしながら絵を描きたいです。



佐々木美直子
年代もジャンルも様々な仲間による『怪作展』は16回目を迎えます。若さみなぎる5人の新メンバーも加わり、展示空間は、どのような表情を見せてくれるでしょうか…。



祖父江典子
花や自然をテーマに油彩画や写真作品を制作しています。季節や天候によっていつも違う表情を見せてくれる花たちに癒されながら作品作りをしています



たなかむつみ
ミクストメディア、アクリル、2DCGなど、表現により画材をかえて描いています。今で10回目の参加。だんだん古株になってきました。



寺崎庸
まずは私の敬愛する画家が秋に開いた個展の為の音楽を…そしてこの冬の為の音楽を…自作自演によるピアノ音楽集です。会期中は「秋盤」と「冬盤」を交互に流す予定です。



十佐間つくお
美術展としては異色ですが小説を出します。コミカルなものやシリアスなものを取り混ぜた掌握集です。これまた異色ですが、ギター独奏集も出します。下手ですが、ギター音楽の魅力が少しでも紹介できればと思います。



本野春花
今回初めて怪作展に参加させて頂きます。現在は、美術大学で様々な分野のデザインを学んでいます。純粋に「絵を描く」というのは久しぶりなので、この機会を大変嬉しく思っています。



枡村佳央
初参加です。大学でグラフィックデザインを学んでいます。キラキラしたものやことを大切に、自分自身の表現を追求している最中です。



吉兼有美
今回初めての参加となります。ちよつども足をとめて見てもらえる物ができればいいと思います。どうぞゆるくお願いします。



和田真実
大学で陶芸を専攻してオブジェなど立体物を制作しています。今回の作品で、引き出しを開ける時のわくわく感を陶芸でも再現できたら素敵だと思い、引き出し式のお弁当箱を作りました。

水出和明
鉛筆画を出品の予定です。

絵てがみ折々 ー小田原の暮らしの中でー



野地 三恵
冬の間、次々に咲いて楽しませてくれた水仙の花の数が、だいぶ少なくなってきた。

このところの暖かい日差しに誘われて、庭の草むしりを始める。土はまだ冷たいが、気がつくと、チューリップがもう芽を出している。その先の枯れた葉の中には、露のとうがあった。まだ蕾は硬くて小さいけれど、よく探すとあちこちに見つかる。思わぬ収穫。露味噌にでもしようか。我が家では、皆が大好物だ。

山の梅畑の土手にも、露のとうが出ているだろうか。あの辺は日当たりがいいので、毎年大きいのが取れる。梅の花もそろそろ咲き始めるだろう。春はもう近い。

1月のこと

高松次郎ミステリーズ：東京国立近代美術館(3月1日まで)

高松次郎という名前に惹かれて行った。若いころ、赤瀬川原平、中西夏之と共にハイレッド・センターという前衛芸術グループで活動していたこと。影の絵の作家という程度の知識しかなかった。知的でスター性があり評価も高く、一種羨望の目で見る作家であった。

会場に入ると自分の影で遊べるコーナーがあり、ひとしきり楽しんでから鑑賞した。点のシリーズ他、作品はすべてコンセプトに基づいて制作されていて、感情を交えることはない。冷静で知的な魅力の作品群である。私にはやはり有名な影の作品が魅力的に感じられた。この作品にももちろんコンセプトがあり、解説を読んだが忘れてしまった。的確に理解できないが、感情を動かす何かが絵に含まれているように感じる。たぶん影はそれ自体で人の心に訴える何かを持っているのだろう。夕暮れの帰り道、樹影や、電信柱や自らの影に心を動かされることはしばしばあることだ。



東京国立近代美術館の前庭に置かれた、ファッションモデルにヨガのポーズをとらせた巨大な彫刻「神話(スフィンクス)」(マーク・クイン作)が、暮れゆく街を背景にライトアップされ、妖しい魅力を放っていた。

